

第2学年 国語 科学習指導案 単元名 「説得力を高める」 教材名 「黄金の扇風機／サハラ砂漠 の茶会／意見と根拠の吟味」	日時 令和7年10月9日(木) 第5校時 学年 第2学年 8名(男子5名 女子3名) 指導者 品川 永里香
---	---

1 単元について

(1) 単元観

本単元は、[知識及び技能] (2)「ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。」、[思考力・判断力・表現力] B書くこと (1)「イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。」、[ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。]、C読むこと (1)「エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。」、[オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。]を受けて設定した2教材でのユニット単元である。

本単元で扱う『黄金の扇風機／サハラ砂漠の茶会』は、「美」という同じ話題について書かれた二つの文章を比べながら読むことで、双方の内容や形式について深く理解することができる教材である。一つの文章だけではその内容からのみの情報だけとなり、主観的な考えになりやすいが、二つの文章が示されることで異なる視点を持つことができ、客観的な立場から文章の内容や筆者の考えを判断・評価していくことが可能となる。また、二つの文章を比較しながら読むことで、それぞれの構成の特徴や効果にも気づきやすくすることができたり、二つの文章の内容と自分の知識や経験とを結び付けたいうえで、自分の考えを持つという活動を通して、文章の説得力を高めるための工夫を見出したりすることができる。と考える。

そして、本単元で扱う『意見と根拠の吟味』は、説得力の高い文章かどうか見極めたり、説得力の高い文章を書いたりするための工夫について効果的に学ぶことができる教材である。「文章の中から意見と根拠を見つける」、「正しい根拠かどうか吟味する」、「根拠から意見が適切に導かれているか吟味する」という三つのポイントから、意見と根拠の関係を理解させていきたい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、男子5名、女子3名の計8名で構成されている。事前アンケート結果から、国語の学習が好きと答えた生徒62.5%に対して、3割程度の生徒が国語の授業に苦手意識を持っていることがわかる。全体としては、授業中は話し合い活動で自分の意見を意欲的に発言する姿もあるが、難しい課題になると意欲が低下して発言が少なくなる傾向が見られる。また、本単元と関わりのある根拠を持って説明することには課題のある生徒もみられる。身近な話題を基にした具体的な例文を用いながら学ぶことで、自分の意見に説得力を持たせる力を身に付けたい。

[事前アンケート結果]

質問内容	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
国語の学習は好きですか。	12.5%	50.0%	12.5%	25.0%
話し合い活動をする際に友達と意欲的に話し合うことができている。	0.0%	62.5%	25.0%	12.5%
自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫している。	0.0%	75.0%	12.5%	12.5%
自分の意見を書くときに相手に分かりやすく伝わるように工夫して書いている。	12.5%	62.5%	0.0%	25.0%

(3) 指導観

本単元においては、読むことで意見と根拠を見つけ、説得力を高めるために意見と根拠のつながりを意識し、構成等を工夫して文章を書くことができる力を身につけさせたい。そのために、言語

活動例のB書くこと(2)「ア 多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く活動」やC読むこと(2)「イ 詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動」から、単元のゴールとして「自分が共感した筆者の意見について、筆者の意見を引用したり、自分の知識や経験と結び付けて文章にまとめる」という言語活動を設定する。また、本単元の学習前に単元のゴールとなる活動を提示し、目的意識を持たせる。このことから、一人一人の学びへの主体性を引き出すとともに、仲間との「対話」に必然性をもたせたい。意見文を書いていくに当たっては、書くことが苦手な生徒から「何を書いたらよいかかわからない」という声が出るのが予想される。そこで、まず『根拠の吟味』という教材を活用して、「説得力のある意見文とはどのようなものか」をしっかりと押さえさせよう。意見文を書く際に自分の考えを分析して「意見」「事実」「理由付け」のつながりを考えて書かせる。また、筆者の意見が引用しやすいように『黄金の扇風機/サハラ砂漠の茶会』の学習の際に、スモールステップで読み解いていき、筆者の意見と根拠(事実と理由づけ)を理解できるようにする。

指導に際しては、ICTを活用したり、ペアやグループでの「対話」の場を適宜設定するなどして、協同的な学習ができるようにする。意見文を書き、読み手の立場から相互にアドバイスをさせることで、自分の意見文を客観的に評価し、より説得力のあるものにできるようにさせたい。

2 単元の見目標

- 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。 [知識及び技能] (2)ア
- 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 [思考力・判断力・表現力] B書くこと(1)イ
- 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるよう工夫することができる。 [思考力・判断力・表現力] B書くこと(1)ウ
- 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の工夫について考えている。 [思考力・判断力・表現力] C読むこと(1)エ
- 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 [思考力・判断力・表現力] C読むこと(1)オ
- 進んで文章を読み比べ、学習課題に沿って、自分の知識や経験と結び付けて、考えを書こうとしている。 [学びに向かう力、人間性等]

<単元の評価規準>

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア	①書くことにおいて、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。B(1)イ ②書くことにおいて、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるよう工夫している。B(1)ウ ③読むことにおいて、観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の工夫について考えている。C(1)エ ④読むことにおいて、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 C(1)オ	①進んで文章を読み比べ、学習課題に沿って、自分の知識や経験と結び付けて、考えを書こうとしている。

3 単元計画 全8時間（本時1時間目）

(1) 指導と評価の計画

時	学 習 内 容	評 価				
		知	思	主	評価規準	評価方法
1 2	<p>課題の設定</p> <p>○P112「意見と根拠の吟味」を読んで、意見と根拠の見つけ方や、根拠の吟味の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『黄金の扇風機／サハラ砂漠の茶会』の筆者の意見を引用して、どちらの主張に共感するかをテーマに説得力の高い文章にする工夫をした意見文を単元の最後に書いて発表することを示す。 意見と根拠とは何かを知る。 悪い例を良い例に書きかえる活動等を行い、適切な根拠とは何かを考える。 	◎			ア①意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	学習活動の観察 ロイロノート ワークシート
3 4 5 6	<p>情報収集・整理・分析</p> <p>○意見文の構成の種類を知る。筆者の述べている意見と根拠が何かを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「黄金の扇風機」を読んで、構成の種類を理解し、意見と根拠を確認する。 「サハラ砂漠の茶会」を読んで、前時の学習をふまえて構成の種類と意見と根拠を自分で見つける。 A3のワークシートを上段と下段にわけ、それぞれの文章の意見と根拠のつながりや構成の種類を表にまとめる。 		◎	○	<p>イ③読むことにおいて、観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開，表現の工夫について考えている。</p> <p>イ④読むことにおいて、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>ウ①積極的に文章を読み比べている。</p>	学習活動の観察 ワークシート
7 8	<p>まとめ・表現</p> <p>○これまでの学習をふまえて、意見と根拠のつながりを意識した文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 二つの文章を読んで、どちらの主張に共感するか、自分の意見を書く。 文章を引用したり、自分の経験や知識を踏まえたりして書く。 文章の種類を選択し、構成を工夫して200字程度で意見を書く。 タブレットを使い、ロイロノートで、意見・根拠・まとめの付箋の色を変えて書かせる。 自分が文章を書くときに意識したところを踏まえて振り返りをする。 自分で書いた文章を推敲し、グループ活動を通して意見と根拠のつながりを吟味する。 		◎	○	<p>イ①書くことにおいて、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができている。</p> <p>イ②書くことにおいて、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるよう工夫することができている。</p> <p>ウ①学習課題に沿って、自分の知識や経験と結び付けて、考えを粘り強く書こうとしている。</p>	学習活動の観察 ワークシート ロイロノート

4 本時の学習

(1) 本時の目標

○意見の説得力を高めるための適切な根拠とは、どのようなものを説明することができる。

(2) 本時の評価規準

○意見の説得力を高めるための適切な根拠とはどのようなものを説明することができる。

【知識・技能(2)ア意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。】

(3) 本時のめざす生徒の姿 (評価基準)

評価基準		生徒の姿	基準達成のための手立て
A	Bに加え, 根拠の適切さを考えて説得力のある文章がどのようなものか考え, 吟味したうえで, 説得力の高い文章にするための適切な根拠がどのようなものかを説明できている。	・説得力のある文章と説得力のない文章では, 意見と根拠の述べ方がどのように違うのか, 根拠の適切さを吟味して, その違いを根拠を持って説明することができる。 どのような根拠を述べれば説得力の高い文章となるのか具体的に説明できる。	・説得力のある文章と説得力のない文章を比較させ, 違いを言葉に出させる。適切な根拠に書きかえた際に, なぜそのように書き替えたのか例文の言葉を使って, 説明させる。
B	(Bを評価規準とする) 説得力の高い文章にするための適切な根拠がどのようなものかを説明できている。	・どのようなポイントをおさえれば, 適切な根拠となるのか説明することができる。	・身近な話題を基にした例文を用いて, 違和感を感じさせる。どのようにすれば, 違和感を無くせるか考えさせる。
C	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。	

(4) 準備物

・教科書, ワークシート, 資料プリント, パソコン, 電子黒板, iPad, ホワイトボード, ホワイトボードマーカー, ホワイトボードイレーザー

(5) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準【観点】 (評価方法)
<p>【学習内容の確認】</p> <p>1 単元の流れと学習課題、本時の学習内容を確認する。(2分)</p>	<p>◆電子黒板に提示して, 視覚的に分かりやすくする。</p> <p>◇『黄金の扇風機/サハラ砂漠の茶会』の筆者の意見を引用して, どちらの主張に共感するかをテーマに説得力の高い文章にする工夫をした意見文を単元の最後に書いて発表することを示す。</p>	
<p>【学習課題】 意見の説得力を高めるためにはどのような文章を書けばよいのだろうか。</p>		
<p>【めあての提示】</p> <p>2 本時のめあてを確認する。(1分)</p>		
<p>【めあて】 意見の説得力がある文章は, どのような根拠になっているか説明することができる。</p>		

<p>3 【個人思考】 ・良い例文を読んで、意見と根拠になる部分は文章中のどこにあたるか考える。(5分)</p> <p>4 良い例文の意見と根拠がどこかを全体で確認する。(5分)</p> <p>5 【個人思考】 根拠の在り方が適切でない例文を提示して、どこが適切でないか考え、発表する。(7分)</p> <p>6 【集団思考】 説得力のある文章にするためには、文章をどう修整したら良いかグループで考える。(15分)</p> <p>7 全体でどのような文章に修正したのかを共有する。(10分)</p> <p>8 【まとめ・振り返り】 適切な根拠のポイントをまとめる。(5分)</p>	<p>◆電子黒板に例文を提示して、視覚的に分かりやすくする。 ◇ロイロノートで例文を個人に配布して、意見には赤線、根拠には青線を引かせる。 ◆意見と根拠を抜き出している生徒に電子黒板を使って、なぜそこに線を引いたか理由を説明させる。 ◇意見と根拠(事実と理由づけ)とは何かを理解させる。 ◆不適切な根拠との違いが分かるように良い例の根拠をおさえる。</p> <p>◆「例文のどこに違和感を感じるか・読みにくいか」と問いを投げかけて、考えさせる。 ◇ロイロノートで違和感を感じる箇所に線を引かせる。 ◆線が引けている生徒になぜそこに線を引いたのか理由を説明してもらい、適切でない理由を全員が理解できるようにする。</p> <p>◇5で確認した箇所のみについて考えると指示し、視点を統一させる。 ◇「どう修正したら分かりやすくなるか」と問いを投げかけて、説得力のある文章を書くための適切な根拠のポイントを考えさせる。 ◇例文の書いてある個人用のプリントやグループ用の拡大プリントを用意し、生徒同士が話しやすいようにする。(考える部分の色を変えておく) ◆考える手掛かりになるヒントカード(根拠キーワード)があることを伝え、必要に応じて使わせる。</p> <p>◇そのように修正した理由を具体的に説明させる。なぜ、それが適切な根拠になるのか考えさせる。 ◇修正した点を確認しながら、説得力のある文章を書くための良い根拠のポイントを考えさせる。</p> <p>◇学習課題について個人で振り返りをする。</p>	<p>○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。【知識・技能】(2)ア (ロイロノート、授業観察)</p> <p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。【知識・技能】(2)ア (ロイロノート、ワークシート、授業観察)</p>
<p>(めざす生徒の姿・まとめ) ①正しい事実をもとにした根拠(数値や資料など、主観のない客観的な事実) ②自分の意見と正しくつながっている根拠</p>		

(6) 板書計画

日付 意見と根拠の吟味

教 P112

めあて 意見の説得力のある文章は、どのような根拠になっているか説明することができる。

良い例文

◎意見：自分の考え。(人によって違うことがある)
◎根拠：意見に対して、「どうしてそう考えるのか」という理由と基になる事実。

不適切な根拠の例文

ヒント1

ヒント2

1班の修正した文章

2班の修正した文章

振り返り

良い根拠とは、どのような根拠だろうか。

本時の流れ